

16期 第7号 通巻180号 1月10日発行

16期ブリテン第7号(2026年1月号)

京都ZEROワイスナシズカラブ

CLUB CHARTERED 2010



京都ZEROワイズメンズクラブ16期 会長主題

招 感動

『 感動をともにする仲間に 』

Table of Contents

- 卷頭 『会計として』
会計 宮越 寛
- 『半期を終えて』
加藤 学会長
- 11/30
『リトセンオータムフェスタ』
- 11/22・23
『次期西日本区役員研修会』
西村 寛子
- 12/6 『クリスマス例会』
高屋雄斗
- 12/13 『桃山学園支援事業』
佐吉田正美

クラブライフに 楽しさや 造り甲斐を

『会計として』 16期会計 宮越 寛

日々のご協力に対して感謝申し上げます。

先ずは、会計として。

ZEROクラブでは二度目の会計となります。引落し代行のシステムに移行してからは初めての会計ということで不安な気持ちもありますが、引落しアプリケーションの入力について体得できるチャンスという気持ちで前向きに捉えています。

業務連絡としましては、引落予定表をアップロードしました際にはご確認いただき、引落し口座残高のご確認をお忘れなくお願いします。

次に三役の一員、委員会の一員として。

会計という専門的な部分ともう一方では三役の一人として会長を支え、委員長を支え、クラブの円滑な運営を進めて行く責任者の一人であるという立場があります。さらに言及するなら担当委員会の委員というかマンパワーの一人であるという立場でもあります。ひとつの事象に対して3通り(会計・三役・委員)の立場で3通りの動きが必要な事もあるでしょうが、楽しみながら達成感を期待し務めていきたいと思います。

三役の不首尾がすべてのメンバーに影響を与えるということを意識しながら安定した運営。言い換えるなら会長や委員長がフリーハンドでタクトが振れて、委員の皆さんも関り楽しさや造り甲斐を感じられるようなクラブライフが可能な環境を提供できればいいなと思っています。

残り半期となりましたが、引き続きよろしくお願いいたします。



未と半年
思案いつき
渠しもく！

『半期を終えて』 16期会長 加藤 学

期が始まる前から役員研修会、役員会、三役会を通して何か自分の色を出せたら楽しめるのかもしないと、ワクワクした心と、見られているという緊張感の中、会長期となりました。

正しいよりも、楽しいをとる勇気を持てたら、メンバーに喜んで頂けるんではないかと思い「超感動」～感動を共にする仲間に～を会長主題とさせていただきました。

半期を振り返ってみて、自分の精一杯で、自分の色として養護施設の支援事業や京都サンガスタジアム見学＆観戦例会など新たに出来た取り組みには、非常に自分自身喜びを感じています。

また、それを一緒にして頂いたメンバーとの交流も心に残る事業であり、活動となりました。

逆に、この半期で自身の至らない部分も沢山見えました。

一つは、IBCの締結についてメンバーのまとまりを作ることが半期では叶いませんでしたし、一つは次々期部長輩出にも三役にて尽力した結果、お引き受けすることが叶いませんでした。

また、例会での出席率もまだまだ、満足できませんし新入会もようやく1月に1名と少ないです。

もっとメンバーの気持ちが高めれるような関り、巻き込み力が必要だと感じています。

残り半期御座いますが、今からできる事だけでも頑張って参りたいです。

特に会員増強はもう少ししたいです。

後半には、合同例会も2つ御座いますから、ゲスト様も呼びやすいので尽力していきたいと思っています。

そして、同期会長会で同期会長と仲良くなれた事京都部や他のクラブの方と交流を持てたのは半期だけで見ても、非常にクラブにとっても、私個人にとっても財産になり、ワイズ活動の一番の醍醐味に触れて、感じたのではないかと思います。

そして、次期会長に、いい形でバトンタッチして次期会長がやりやすいように、私の会長期を終えることが出来るように次期の事も考えていく残りの半期になればと思っています。

残り、半期ですが皆様、宜しくお願い致します



リトセンオータムフェスタ



次期西日本区役員研修会 次期西日本区 国際交流事業主任 西村寛子

11月22-23日ホテルクライトン新大阪において次期西日本区役員研修会が開催された。

次期に向け、次期理事、主任、部長より次年度の活動方針等が発表され早くも次期への緊張感が高まってきた。

加えて今回はワイスメンズクラブについての知識を問う問題解答形式の勉強会が行われ、学ぶことの多さに少々プレッシャーを感じざるを得ないスタートとなった。

二日目には今期の役員の方々と共に主任、部長グループに分かれての課題議論が重ねられた。

次期、西村は国際交流主任を拝命、ZERO クラブの一員としてその名に恥じぬようしっかりと役目を果たすべく努力するつもりであるので、皆様のお力添えを是非是非お願いするところである。

次期への活動は端緒についたところではあるが、自身のお役目を果たすために学ぶことの多さを痛感しつつ、7月にしっかりスタートができるよう学びをスタートするつもりである。

どうぞZEROの皆様も、国際交流事業について関心を持って頂き、クラブの国際交流事業をしっかり見直して頂ければと願っている。

IBC DBC だけではなく、iGO等についても興味を持つていただければと思う。

共に学べるよう、皆様よろしくお願ひいたします。



クリスマス例会

ドライバー委員長

高屋雄斗

先日開催されたクリスマス例会は、私にとって忘れられない思い出となりました。

ドライバー委員長として、委員の皆様と共に準備を重ねてきた日々が、当日の笑顔と歓声という形で実を結んだことを、心から嬉しく思っております。

メインプログラムは、バイオリン演奏から始まりました。

会場に響き渡る美しい音色が、一気にクリスマスマードを高めてくれました。

続くbingo大会では、会場全体が一体となって盛り上がり、当選者の喜びの声が会場を包みました。

そして、マジシャンによるマジックショーでは、驚きと笑いが絶えず、参加者の皆様の楽しそうな表情を見ることができました。

委員長という立場で臨んだ今回の例会でしたが、何よりも委員の皆様やホテル関係者の協力があってこそ成功したと実感しています。

それぞれが役割を果たし、お互いに支え合いながら準備を進められたことは、大きな財産となりました。

当日、参加者の皆様が笑顔で楽しんでいる姿を見た瞬間、すべての苦労が報われたように感じました。

「楽しかった」「素敵なお時間だった」という温かいお言葉をいただき、ドライバー委員として、これ以上のやり甲斐はありません。

この経験を糧に、今後も皆様に喜んでいただける活動に貢献していきたいと思います。

改めて、ご協力いただいた委員の皆様、そしてご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

素敵なクリスマス例会をありがとうございました。





桃山学園支援

inリトリートセンター

Yサ委員長 佐古田正美

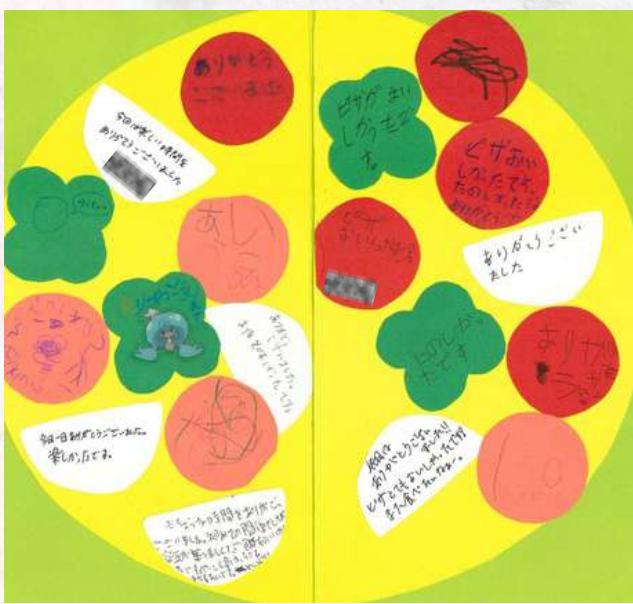
冬晴れの快晴の元、リトセンにて初めての桃山学園支援を行いました。

子どもたち約30名、先生方約10名、zeroクラブ&ゲスト約10名の大所帯で、メンバー全員てんてこ舞いになりながら、食材作りに励みました。

桃山学園は、障害児入所施設と児童養護施設が合体した学校で、先生方のみならず養護施設のお兄さんお姉さんが障害児の面倒をよく見ているな、という印象を強く受けました。大きなファミリーみたいな感じです。

先生方によると、普段の学園は非常に狭い空間で、それに比べては広い広いリトリートセンターに最初はその広大な空間に戸惑いながらも、後半は大いに楽しんでくれたようです。

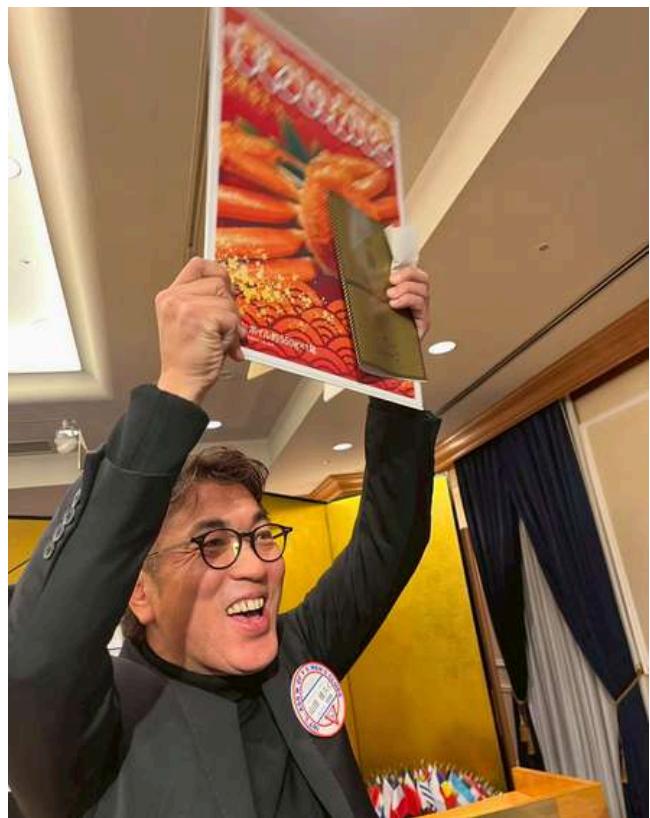
こういうボランティアは一度始めると定期的に継続することがなにより大事で、齢(よわい)70の小生も体力気力の続く限り参加し続けたいと思いました。





The Best Shot Award

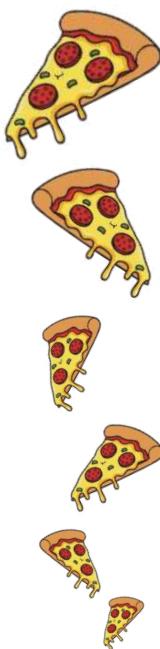
Top 3 Photography Awards
Select and Comment Shota Ibusuki



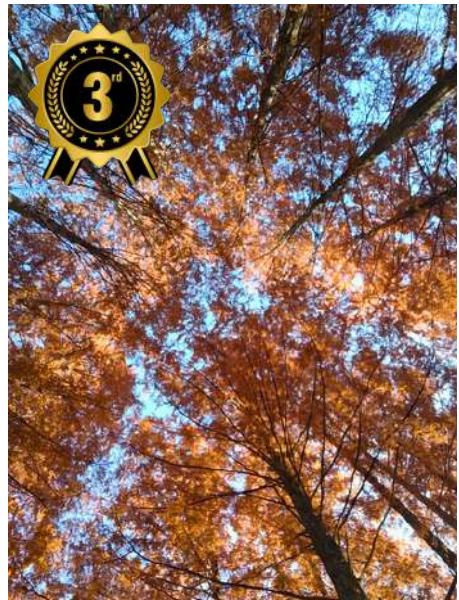
『ヤッター！

大当たり！』

撮影者 竹園Y



『ピザ窯、準備万端です！』
撮影者 佐藤Y



『秋も深まりました！』
撮影者 ヴレンダY



12月のベストショット賞は、竹園ワイズでした♪
いつもたくさん写真をアップして頂きありがとうございます！
優勝者の竹園ワイズには 3,000円分の賞品を進呈いたします。

毎月ベストショット賞の賞品が出ています！全員にチャンスあり♪
皆様のお写真どんどんグループラインにアップのほどよろしくお願ひいたします！



1/12 秋久 成人 1/30 伊神 康喜

HAPPY ANNIVERSARY

1/1 伊神康喜 & 聰美 1/12 秋久成人 & 澤井美智子
1/16 井上晴雄 & 陽子

Y M C A N E W S

リトリートセンター開設60周年記念募金

本募金には多くの皆さまよりご支援をいただき

現在の寄付総額は7,398,038円となっております。

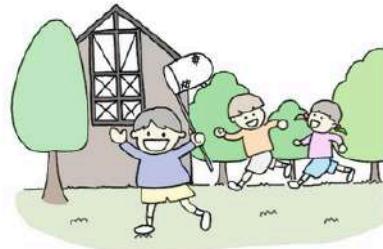
心より感謝申しあげます。子どもたちや青少年の育ちの場として
今後も一層充実させてまいります。

引き続き、募金へのご協力をお願いいたします。

詳細は下記二次元コード、または以下のURLをご覧ください。

<https://kyotoymca.or.jp/facilities/?p=1446>

※クレジットカードによるオンライン決済もご利用いただけます。



今月の聖句

旧約聖書 箴言4章 18節

神に従う人の道は輝き出る光。進むほどに光は増し、真昼の輝きとなる。

京都ZEROワイズメンズクラブ
会長主題

『超感動』

～感動をともにする仲間に～

国際会長

エドワード・オン

主題 “Faith, Love, Action”

スローガン “Together Stronger”

アジア太平洋地域会長

田上 正

主題 “Act now with faith and love”

スローガン “Contribute to local society,

together with YMCA and Youth”

西日本区理事

中井 信一

主題 「世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!」

スローガン 「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」

京都部部長 隠塚 功

主題 次のステージを求めて！

「Looking for the next stage！」

強調月間

EF（エンダウメントファンド）の意味を理解し
国際奉仕団体のメンバーとして、記念すべき出来事
行事などに合わせて喜びの献金をしましょう。

中西賢一 国際・交流事業主任（熊本にし）

12
月

二コニコ
第一例会15,000円
第二例会 - 円
合計 15,000円
累計 72,000円

ファンド益
12月 0円
累計467,073円

第一例会M20名 G27名
第二例会M - 名 G - 名
月間出席者 27/37
月間出席率 73.0%

締結クラブ

IBC Kaimuki Y Service Club(ハワイ)
DBC 阿蘇ワイズメンズクラブ(熊本)
長浜ワイズメンズクラブ(滋賀)

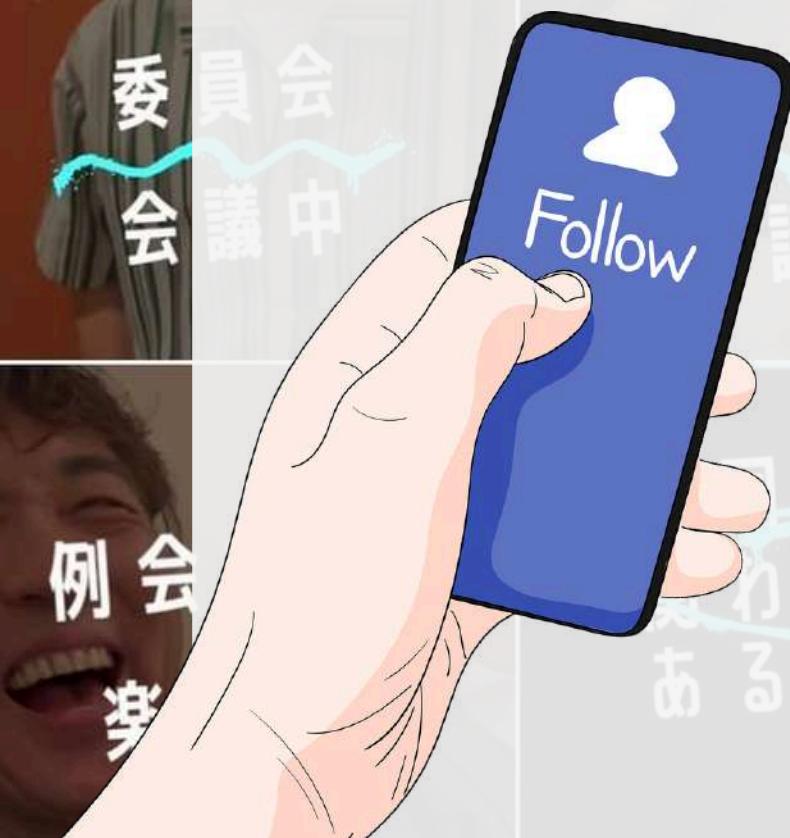
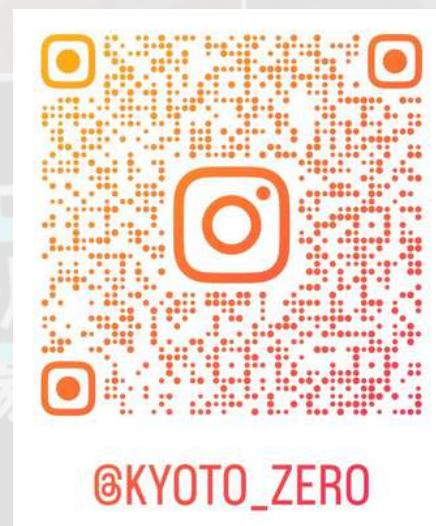


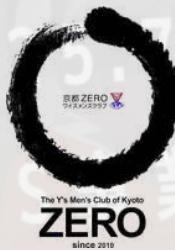
Instagram随时更新中

例会やワーク、各委員会の様子など
投稿しております。

『フォロー&いいね』
よろしくおねがいいたします。

FOLLOW ME





京都ZEROワイズメンズクラブ Instagram運用状況

1月の投稿

リール動画と投稿の閲覧数

108

フォロワー以外の閲覧数

71.3%

みんなでZEROの活動を
アピールしましょう！

メンバーシップ

YMC Aはプログラムに参加する子どもたちや大人の方、ボランティアとして活動に携わる方々によって支えられている団体です。一人一人に合ったかたちで京都YMC Aとの関わり方を選び、活動を通して人とつながり、子どもも大人も成長していく環境があります。



ボランティア

YMC Aは、170年あまり前にボランティア精神に基づき組織され、世界に広がりました。地域のニーズに応えて活動を続けてきた「ポジティブネット」のある豊かな社会をつくるボランティア団体です。みんなが共に生きていくために、自分ができることは何かを考える。様々な人たちがYMC Aを通してボランティア活動を行っています。



こどもプログラム

YMC Aは活動を通して、人格の向上に大切な価値として「CARING（思いやり）」、「HONESTY（誠実さ）」、「RESPONSIBILITY（責任感）」、「RESPECT（尊敬心）」を子どもたちへ伝え、子どもたち一人一人が自分を大切にするとともに、自分以外の人も大切にできる生き方を身に付けてほしいと願っています。



大人プログラム

したい何かがみつかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所。アクティブライトな運動プログラムから英会話など知性を養うプログラム、ボランティア活動など一人一人のしたい何かが見つかり、活動を通して誰かとつながる。YMC Aは、生涯にわたり自分を高めていけるかけがえのない場所です。



京都YMC A国際福祉専門学校 介護福祉学科

今の自分となりたい自分。その間を結ぶのが京都YMC Aでの2年間。介護福祉士として社会で自信を持って仕事を行うために、京都YMC Aでは、知識と技術の習得を、演習と実習によって深めていけるよう努めています。あなたの福祉業界での夢の実現につながる第一歩です。



京都YMC A国際福祉専門学校

日本語科

ことばは、人と人が分かりあえる素晴らしい道具。新しい文化を知ること、わかりあうこと は、豊かな未来へつながっていきます。みなさん、もう一つのことばを学んでみませんか。日本語を学ぶことを通して、世界を広げ、平和の芽を育てたい。それがYMC Aの願いです



リトリートセンター

琵琶湖へ注ぐ川はたくさんありますが、流れ出る川はたった1本。その瀬田川が、宇治川に名前を変えるあたりから支流の笠取川をしばらく山手へ上がると、やがて40年育ったメタセコイアの森陰に、茶色のロッジが見えてきます。そこが京都YMC Aリトリートセンターです。



舞鶴YMC A国際福祉専門学校

「海の京都・舞鶴」で人を笑顔にする魔法を学ぶ。いつも正直で、人にやさしく、責任感を持って、信頼される職業人となれるよう、その人格形成を重視した自立を促す参加型授業を提供します。YMC Aの持つネットワークや社会貢献の強みを生かし、介護福祉と国際観光、2つの分野で自信をもって活躍する人材を育てます。



英会話

YMC Aは、語学教育を通して、地球市民を育てます。

The YMCA pledges to foster global citizenship through language education.



成人スイミング

25m×5コースの温水プールでは、スイミングやウォーキングを楽しんでいただけます。水中運動は、膝や腰など、必要以上の負担を軽減し、筋力を高めていくことが可能です。また、全身運動であることから、日常生活を生き生きと過ごす体力を向上させることができます。







京都 ZERO
ワイズメンズクラブ

The Y's Men's Club of Kyoto

ZERO

since 2010